

新宿駅東口地区賑わい創出・物流効率化の複合型社会実験

1. 社会実験の概要

(1) 実験内容・目的

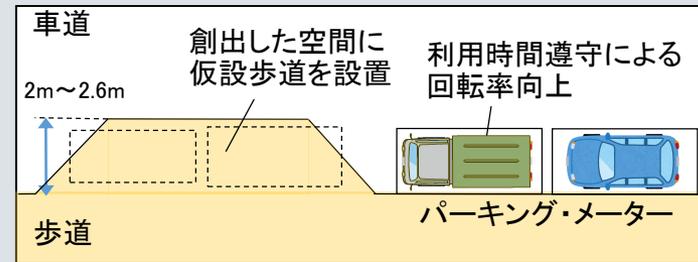
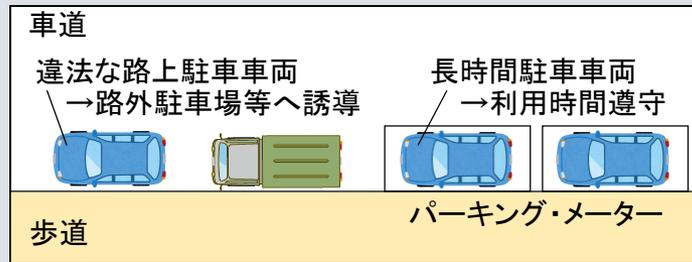
- ・荷さばき集約化や路上駐車対策により、EAST地域内の路上駐車を減らし、車道部分に歩行者空間を創出する。
- ・その歩行者空間を活用して賑わい創出を行い、まちの賑わいをさらに向上させる。

(2) 実験の全体像

新宿モール&パサージュ計画 ～歩きたくなるみちづくり～

「SHINJUKU STREET SEATS」①道路空間の活用による賑わい創出実験(新宿通り)

車道の一部に仮設歩道「SHINJUKU STREET SEATS」を設置し、まちの魅力向上を図る。



パーキング・メーター以外での路上駐車

道路空間に仮設歩道を設置

路上駐車等の減少により、車道を歩行者のための空間に転換

「新宿東口荷さばき集約化プロジェクト」

②荷さばき集約化実験

地区内に流入する荷さばき車両を減少させ、路上駐車の発生を抑制する。

③駐車場所・駐車時間の適正化実験

違法な路上駐車車両の路外駐車場への誘導やパーキング・メーターの利用時間遵守を図る。

(3) 実施期間

- ①道路空間の活用による賑わい創出実験 : 10月14日(土)～11月30日(木) ※10/12夜間設置工事、11/30夜間撤去工事
- ②荷さばき集約化実験 : 11月21日(火)、11月22日(水) 8:00～18:00
- ③駐車場所・駐車時間の適正化実験 : 10月14日(土)～11月30日(木) 週3回(月・水・金)12:00～15:00